

高梁川水防演習の目的

洪水による被害の発生を未然に防止し、また、被害を最小限に止めるためには、関係機関との密接な連携のもとに迅速で円滑な水防活動を行う必要があります。このため、国土交通省・岡山県・水防管理団体を始めとし、関係機関及び地域住民の参加のもとに水防工法・情報伝達・人命救助・避難訓練を中心とした水防演習を行い、水防団員等の志気の高揚を図り、水防工法技術の練磨に努め水防体制の万全を期すとともに、地域住民の水防思想の普及啓発を図ることを目的としています。

水防とは

洪水などの時に、水害を警戒し、これを防ぎ、被害を軽減する活動をいいます。水防活動は、自分たちの大切な命や財産は自分たちで守るという、もっとも基本的な自己防衛のために昔から行われています。

水防には

緊急時には、水防法等に基づき車両を通行止めにしたり、一般住民の方に水防活動への従事を要請できることとなっています。災害を防ぐためには皆さんの水防活動への協力が必要です。

水防には、皆さんの理解と協力が必要です。

緊急自動車を優先通行させて下さい。



水防活動時には立入が制限される場合があります。



私有の樹木や土砂を使わせていただくことがあります。



住民の皆さんに水防活動へのご協力をお願いします。



避難指示があったときは、迅速に従って下さい。

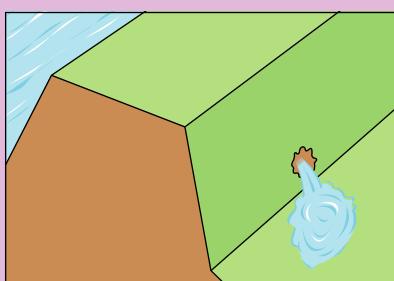
水防工法とは

水防工法とは、漏水・洗堀・越水・堤防亀裂が生じたときや、堤防が崩壊しそうになったときに緊急措置として行う工法のことをいいます。

漏水対策

このような時

堤防から漏水した水が噴き出したとき



月の輪(鋼製月の輪)

河川水位と漏水口の水位差を縮めて漏水圧力を弱めるため土のうを積み水溜をつくる。



釜段工

漏水の噴出口を中心に土のうを積み、水を溜めてその水圧で水の噴出を止める。

